

平成 24 年度第 3 回 史跡・建築部会（合同開催）

会議録

1、日 時：平成 24 年 3 月 5 日（火） 13 時 30 分～16 時 30 分

2、場 所：熊本市役所古京町別館第 1 研修室

3、出席委員：田中史跡部会長、斎藤建築部会長、今村委員、北野委員、
高瀬委員、山尾委員、（伊東委員欠席）

4、会議録（要旨）

（1）国復元検討委員会審議結果について

○ 事務局説明

・事務局より、国復元検討委員会審議結果（別紙 2-3）について報告する。

○ 委員からのご意見

- ・国復元検討委員会審議結果はすべて、一つ一つの復元建造物の具体的な審議内容ではなく、熊本市に対するものの考え方のところを指摘されている。
- ・調査研究組織設置に関する条件については、今年度の要求が通らなくても、来年度計画するということまで言わなければならないと思う。
- ・石垣整備の指摘についても、今後 10 年 20 年と整備が続くのであれば、人材を育成していくような進め方を文化庁が強く要請していることだろうと思いますので、しっかり受け止め欲しい。
- ・史跡の保存と活用の指摘についても、特別史跡熊本城跡全体のあり方を問われている問題だと思う。全体像を早くきちんとまとめなければならないと思う。
- ・総括的な整備報告書の刊行に関する指摘について、個々の整備報告書でなく、なぜそれを復元したのか。今後どのようにあるべきかを含めた総括的な報告書にしなければいけない。

○ 審議結果

・国復元検討委員会審議結果の 5 点の指摘については、今後しっかり対応するように検討を進めて欲しい。特に調査研究組織については十分検討してもらう必要がある。

（2）平左衛門丸復元整備について

① 遺構調査について

○ 事務局説明

・石垣保存修理工事に伴う発掘調査の状況報告を図面により説明した上で、現地指導いただく。

○ 審議を受けて

・段階的に構築されている跡が見られる御肴部屋櫓跡については、更に遺構調査を進め、どのような変遷であったか調査研究を進めること。

② 御肴部屋櫓跡石垣復元について

○ 事務局説明

- ・ 今回石垣のみ復元する御肴部屋櫓跡について、今後の櫓復元を想定した石垣の積み方や高さ設定に関する事務局案について説明する。

○ 審議を受けて

- ・ 遺構調査等による検討結果を基に、復元する石垣の年代を設定し、現在の遺構に対して、どのように積むのかをきちんと検討すること。石垣復元イメージ図を作成し、次回部会に提出すること。

③ 廊下塀の床について

○ 事務局説明

- ・ 前回部会での審議結果を受け再検討した廊下塀の床形式について説明する。

○ 委員からの意見

- ・ 廊下塀の部材が、塀としては立派過ぎるのではないか。

○ 審議を受けて

- ・ 廊下塀の部材を再検討した上で、床形式を設定するように指導いただく。

④ 構造補強について

○ 事務局説明

- ・ 籠塀部分及び廊下塀部分端部の構造補強や石垣解体修理を行わず遺構が残っている部分のコンクリート基礎についての事務局案について説明する。

○ 委員からのご意見

- ・ 倒壊しないよう構造補強することはやむを得ないが、見えない位置で補強するなどの工夫が必要ではないか。
- ・ コンクリート基礎は、宇土櫓の出口部分になるので、見えるのはいかなものか。

○ 審議を受けて

- ・ 構造補強する方法については、見えない位置で補強するなど再検討する。
- ・ 遺構保護のためにコンクリート基礎が目立たないような工夫をする。

(3) 馬具櫓復元整備工事について

○ 事務局説明

- ・ 現在工事中の馬具櫓南東部にある石落とし壁にある狭間について、1箇所追加変更する案を城内類例などの資料により説明する。

○ 審議を受けて

- ・ 挟間を1箇所追加設置することを了承いただく。